



処分される犬や猫は、  
 コトバを持たず何も言わない。  
 だれかが何か大切なことを言う  
 のを待ってるのかもしれない。



考えてください。テーマは捨てる犬・捨てる猫問題。  
 副田高行、一倉宏、児島令子、照井晶博、  
 服部一成が、犬や猫に代わって審査。

#### 新聞広告クリエイティブコンテスト開催

日本新聞協会広告委員会は、今年も全国の若手クリエイターを対象に(プロ・アマ問いません)、新聞広告クリエイティブコンテストを開催します。「捨てる犬・捨てる猫問題」をテーマに、独創的で斬新な、新聞広告の可能性を広げる作品をお寄せください。入賞作品は、新聞協会が広告主となり、全国の新聞に掲載されます◇応募要項【テーマ】捨てる犬・捨てる猫問題【サイズ】ブランケット判全15段(天地511mm×幅378mm。そのうち底辺から68mmの部分は完全に空白にしてください)【色】カラーまたはモノクロ【応募方法】作品は厚紙、パネル、イラストレーションボードのいずれかに貼って提出してください(データでの応募は不可)。応募票と新聞協会ウェブサイト内の新聞広告データアーカイブ(<http://www.pressnet.or.jp/adarc/>)からダウンロードし、作品の裏面に貼り付けてください【注意事項】●一人何点でも応募できますが、シリーズ作品の応募は受け付けません●未発表のオリジナル作品に限ります●著作権、商標権、肖像権などで第三者の権利を侵害しないよう十分に配慮してください。第三者が権利を持つ写真、ロゴ、キャラクターなどを利用する場合は、権利者の許可証を添付してください。第三者とトラブルが発生した場合は、応募者自身の責任と費用において解決していただきます●実在する個別企業(個人)名や新聞社名(題字、紙面、広告なども)は使わず、架空のものを作成してください●新聞広告倫理綱領、新聞広告掲載基準にそぐわない作品は審査の対象となりません。新聞協会ウェブサイト(<http://www.pressnet.or.jp/>)でご確認ください●入賞作品は紙面掲載にあたって補作する場合があります。カラーの入賞作品でもモノクロ掲載となる場合があります●入賞作品の著作権は新聞協会に帰属します●入賞作品は、コンテストの趣旨に沿って、新聞協会ならびに新聞協会会員各社のPR活動に独占的に使用します●応募時の個人情報は、選考・発表に関わる事項以外には使用しません●入賞作品の発表時には、氏名、年齢、所属企業、学校などを公表します。受賞者の個人情報は、取材のため新聞協会会員各社に提供しますのであらかじめご了承ください●応募作品は返却しません【審査委員】審査委員長・副田高行氏(アートディレクター)／審査委員(50音順)一倉宏氏(コピーライター)、児島令子氏(コピーライター)、照井晶博氏(コピーライター)、服部一成氏(アートディレクター)、新聞協会広告委員長、同副委員長【賞】最優秀賞1点(賞状と副賞50万円)、優秀賞1点(賞状と副賞10万円)、デザイン賞・コピー賞(賞状と副賞5万円)、学生賞若干数(賞状と副賞3万円)【表彰】10月20日(金)に開催する「新聞広告の日」記念式典で表彰します【発表】10月上旬に、新聞協会会員新聞および新聞協会ウェブサイトで発表します【応募期間】7月19日(水)～8月2日(水)必着【応募先】〒100-8543 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル7階 日本新聞協会「新聞広告コンテスト」係 Tel: 03-3591-4407